

付表1 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 検知アプリ データ項目

※入力:○手入力、
●自動計算または一部手入力

カテゴリ	No.	属性名	形式	単位	全桁数	小数点以下桁数	仕様区分 ●:基本 ○:推奨	内容	コード	コード表	類語	入力	画面表示	出力
基本情報	1	ロットNo.	Integer	-	8	-	●	検知対象とした原木等のロット(もしくは単木)へつける通し番号	-	-	はい積みNo.	●	○	○
	2	木No.	Integer	-	8	-	○	伐採した立木へ付ける通し番号	-	-		●	○	○
	3	原木No.	Integer	-	8	-	○	ロット内の個別の原木を識別する際に使用する番号	-	-	丸太No.	●	○	○
	4	計上年度	Integer	-	4	-	○	データを計上する(西暦)年度	-	-		●	○	○
	5	計上月	Integer	月	2	-	○	データを計上する月	-	-		●	○	○
	6	検知日	Date	年月日	-	-	●	データを作成した日付	-	-		●	○	○
	7	検知時刻	Date	時分	-	-	○	データを作成した時刻	-	-		●	○	○
	8	検知者	Text	-	100	-	○	データを作成したユーザー	-	-	検収者	○	○	○
	9	更新日	Date	年月日	-	-	○	データ更新を行った日付	-	-		●	○	○
	10	更新時刻	Date	時分	-	-	○	データ更新を行った時刻	-	-		●	○	○
	11	更新者	Text	-	-	-	○	データ更新を行ったユーザー	-	-		○	○	○
	12	現場	Text	-	-	-	●	データを作成した場所	-	-	林班・小班、置場、土場	○	○	○
	13	緯度	Double	-	8	6	○	10進緯度	-	-		●	○	○
	14	経度	Double	-	9	6	○	10進経度	-	-		●	○	○
	15	標高	Integer	m	4	-	○	海拔で表現	-	-		●	○	○
種別情報	16	林種	Text	-	100	-	○	原木等を出材した森林の林種	○	○		○	○	○
	17	伐採方法	Text	-	100	-	○	原木等を出材した森林の伐採方法	○	○		○	○	○
	18	樹種	Text	-	100	-	●	樹種	○	○		○	○	○
	19	品等	Text	-	100	-	●	品等、複数の品等が混在している場合は最もグレードが高いものを入力	○	○	等級	○	○	○
	20	用途	Text	-	100	-	○	原木から最初に加工する際の用途	-	-	摘要	○	○	○
	21	森林認証	Text	-	100	-	○	森林認証取得の有無 認証有りの場合はその種別を選択	○	○		○	○	○
	22	森林経営計画	Text	-	100	-	○	森林経営計画の有無	○	○		○	○	○
	23	伐採年月日	Date	年月日	-	-	○	伐採作業中の場合は、作業開始日 伐採作業が完了している場合は作業完了日	-	-		○	○	○
	24	カラーマーキング	Text	-	100	-	○	造材する際、ハーベスタ等で原木等へカラーマーキングしている場合の色	-	-	マーキングの色	○	○	○
材積情報	25	材積	Double	m3	8	3	●	計測または検知したデータを基に、計算される数量	-	-		●	○	○
	26	重量	Double	t	8	3	○	スケール等で計測された重量	-	-		○	○	○
	27	材長	Double	m	4	2	●	原木の長さ、ただし余寸(余尺)を除く 括約方法はJAS規格に従う	-	-		●	○	○
	28	径級	Integer	cm	3	-	●	原木末口の括約した直径 括約方法はJAS規格に従う	-	-		●	○	○
	29	皮無計測直径	Double	cm	4	1	○	写真検知等によって直接計測された、(括約する前の)皮無直径	-	-		○	○	○
	30	皮付計測直径	Double	cm	4	1	○	写真検知等によって直接計測された、(括約する前の)皮付直径	-	-		○	○	○
	31	元口最大径	Integer	cm	3	-	○	元口の最大径。小数点以下切り上げ	-	-		○	○	○
	32	本数	Integer	本	6	-	●	原木の本数	-	-		●	○	○
層積情報	33	層積	Double	m3	8	3	○	層積面積×材積または層積長×層積幅×層積高によって計算される値 層積に層積密度係数を掛けることで材積となる	-	-		●	○	○
	34	層積面積	Double	m2	7	2	○	木口の断面積合計	-	-		●	○	○
	35	層積長	Double	m	5	2	○	検知対象ロットの底面の長辺	-	-		●	○	○
	36	層積幅	Double	m	5	2	○	検知対象ロットの底面の短辺	-	-		●	○	○
	37	層積高	Double	m	4	2	○	検知対象ロットの高さ	-	-		●	○	○
	38	層積密度係数	Double	-	3	2	○	層積の値を材積に変換するための係数	-	-	層積空隙率、層積密度	○	○	○
直径情報	39	検知方法	Text	-	100	-	○	検知を行った方法	○	○	計測方法	○	○	○
	40	材積計算方法	Text	-	100	-	○	材積の計算方法	○	○		○	○	○
	41	計測位置	Text	-	100	-	○	直径を計測した原木の木口の位置	○	○		○	○	○
	42	計測直径種別	Text	-	100	-	○	計測した直径の種別	○	○		○	○	○
	43	樹皮補正方法	Text	-	100	-	○	樹皮付きの直径を計測した場合の、樹皮無し直径の値への補正方法	○	○		○	○	○
物流・商流情報	44	森林所有者	Text	-	100	-	○	原木等を出荷した森林の所有者 森林の土地所有者と、立木所有者が異なる場合は、立木の所有者	○	-	所有者	○	○	○
	45	出荷者	Text	-	100	-	●	原木等の所有者または森林所有者から事業委託を受けた者	○	-	森林組合、荷主、出荷先	○	○	○
	46	素材生産者	Text	-	100	-	○	原木等を生産した林業事業者等	○	-		○	○	○
	47	運送者	Text	-	100	-	○	原木等を運送した事業者	○	-		○	○	○
	48	販売先	Text	-	100	-	○	原木等を販売する相手先 都道府県森連・商社を介して販売する場合、その相手先	○	-		○	○	○
	49	納品先	Text	-	100	-	○	原木等を納品する相手先	○	-		○	○	○
	50	トラック	Text	-	100	-	○	原木を運送したトラック	○	-		○	○	○
	51	データ管理者	Text	-	100	-	○	データ管理者	○	-		○	○	○
その他情報	52	連絡先名	Text	-	100	-	○	連絡先名	○	-		○	○	○
	53	連絡先摘要	Text	-	100	-	○	連絡先摘要	○	-		○	○	○
	54	備考	Text	-	100	-	○	備考	-	-		○	○	○
	55	関連ロットNo.	Integer	-	8	-	○	ロットを途中で分割した場合等に、対象ロットと他のロットを紐づけるための番号	-	-		○	○	○
	56	写真	-	-	-	-	○	写真検知の際に使用した写真や写真検知画面、またはロットの写真	-	-		○	○	○

付表2 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 検知アプリ コード表

◎林種	
コード	名称
1	人工林
2	天然林
3	伐採跡地
4	未立木地
5	竹林

※森林クラウド 林種

◎伐採方法	
コード	名称
1	皆伐
2	択伐
3	間伐
4	その他

※森林クラウド 伐採方法

◎樹種	
コード	名称
1	スギ
2	ヒノキ類
3	マツ類
4	カラマツ
5	トドマツ
6	エゾマツ
7	その他N
8	クヌギ
9	ナラ類
10	ブナ
11	その他L
12	タケ

※森林クラウド 中樹種

◎品等	
コード	名称
1	1等
2	2等
3	3等
4	4等

※JAS規格 素材

◎森林認証	
コード	名称
1	FSC
2	SGEC
3	その他認証
4	認証なし
5	分からない

※機械管理編

◎森林経営計画	
コード	名称
1	有
2	無

※森林クラウド 森林経営計画認定の有無コード

◎検知方法	
コード	名称
1	手検知
2	画像検知
3	ハーベスタ検知

※事務局作成

◎材積計算方法	
コード	名称
1	末口二乗法
2	層積法
3	重量計測

※事務局作成

◎計測木口	
コード	名称
1	末口
2	元口
3	混在

※事務局作成

◎計測直径種別	
コード	名称
1	最小径
2	平均径

※事務局作成

◎樹皮補正方法	
コード	名称
1	樹皮関数
2	樹皮率
3	樹皮厚
4	無

※事務局作成

付表3 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 検知アプリ システム要件

※アプリに付随するPCソフト等での対応も可とする。

カテゴリ	項目	内容	仕様区分 ●:基本 ○:推奨
システム 一般	記録	データを自動または手動で入力し、記録することができる	●
	保存	記録したデータを、デバイス内・クラウド・パソコン等に保存することができる	●
	閲覧	保存したデータを、入力したデジタルデバイスで閲覧することができる	●
	修正	保存したデータを、入力したデジタルデバイスまたは他のデジタルデバイスを用いて、修正することができる	●
	蓄積	保存したデータを、デジタルデバイス内・クラウド・パソコン等に蓄積することができる	●
	オフライン対応	データの記録・保存・閲覧・修正・蓄積が、オフライン環境下でも使用できる	●
	バックアップ	蓄積したデータをバックアップとして保存し、元のデータに復元できる	○
	出力	CSV形式等の汎用的なデータ形式で、データが出力できる	●
	データ共有	下記いずれかの手段を用いたデータ共有ができること ・ユーザー間によるメール等を用いたデータ送信 ・セキュリティ保護に対応した外部媒体(SDカード・USBメモリ等)を用いたデータ出力 ・デジタルデバイスとパソコンを有線または無線でつなぐことによるデータ送信 ・クラウドを通じたデータ共有	●
	データ作成・更新履歴	データを作成・更新した日付・時刻のデータを記録・蓄積できる	○
	インポート	「ICT林業生産管理標準仕様」に対応した他の検知アプリ・ハーベスタ検知のデータを取り込むことができる	○
	データ項目追加	ユーザーが任意のデータ項目を追加できる	●
	コード追加	ユーザーがコード表に任意の項目を追加できる	●
	記録写真管理	検知対象となる原木等の記録写真を管理することができる	○
位置情報付加	GNSSで取得した位置情報を検知情報に付加できる	○	
音声入力	検知情報を音声認識で入力できる	○	
検知 一般	入力結果表示(本数・材積)	検知した全体・ロット・単木の本数・材積が、デジタルデバイス上でリアルタイムに確認できる	●
	管理単位(基本)	ロット単位でデータを管理することができる	●
	管理単位(推奨)	ロット・立木・原木単位でデータを管理することができる	○
	データ設定	任意のデータ(樹種・材長等)を事前に設定することができる	●
	計測直径	計測した皮付・皮無直径を記録する(ロット・立木・原木単位で管理する場合に限る)	●
画像検知 一般	テンプレート出力	入力したデータを、事前に作成した出荷伝票等のテンプレートに則って出力することができる	○
	画像取得	画像を新規に撮影する、または撮影した画像を読み込むことができる	●
	画像保存	検知に用いた元画像を保存することができる	●
	基準による補正	基準線長または基準径級等を、設定することにより、検知に用いる縮尺を補正することができる	●
	画像認識結果保存・共有	画像認識後、使用した画像と認識結果を重ね合わせた画像を保存・共有できる	○
画像検知 単木	写真合成	検知に用いる複数の写真を合成することができる	○
	単木自動認識	ロットの画像から、原木の木口を自動で認識して、個別の原木が識別できる	●
	径級自動計測	識別した木口の直径を自動で計測することができる	●
	皮無最小径対応	皮無最小径を計測することができる(計測ロジックは任意)	○
	認識した木口円修正	自動認識した木口円の位置・大きさ等を、修正することができる また、自動認識に過不足があった場合は追加・削除を行うことができる	●
	認識した径級修正	自動計測した径級を、修正することができる	●
画像検知 層積	範囲修正	層積計算の対象範囲を、修正することができる	○

付表4 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 日報管理アプリ データ項目

※入力:○手入力、
●自動計算または一部手入力

カテゴリー	No.	属性名	形式	単位	全桁数	小数点以下桁数	仕様区分 ●:基本 ○:推奨	内容	コード	類語	入力	画面表示	出力
基本情報	1	日付	Date	年月日	-	-	●	日報の報告対象の日付	-		○	○	○
	2	作業者	Text	-	100	-	●	日報の報告対象のユーザーまたは作業者	○	職員名	○	○	○
	3	報告者	Text	-	100	-	○	日報を報告するユーザー	○		○	○	○
	4	現場	Text	-	100	-	●	作業を行った現場	○	現場名、施業地	○	○	○
	5	事業者名	Text	-	100	-	○	作業者の所属する事業者	○	森林組合	○	○	○
	6	班名	Text	-	100	-	○	作業者の所属する班名	○		○	○	○
	7	森林所有者	Text	-	100	-	○	作業を行った現場の森林所有者	○		○	○	○
	8	発注者	Text	-	100	-	○	作業の発注者	○		○	○	○
	9	緯度	Double	-	8	6	○	10進緯度	-		●	○	○
	10	経度	Double	-	9	6	○	10進経度	-		●	○	○
	11	標高	Double	m	4	-	○	海拔で表現	-		●	○	○
	12	施業着手日	Date	年月日	-	-	○	現場の施業に着手した日付	-		○	○	○
	13	施業完了日	Date	年月日	-	-	○	現場の施業を完了した日付	-		○	○	○
勤怠情報	14	勤怠種別	Text	-	100	-	○	勤怠種別	○	勤務形態	○	○	○
	15	始業時刻	Date	時分	-	-	●	始業時刻	-	出勤時刻	○	○	○
	16	終業時刻	Date	時分	-	-	●	終業時刻	-	退勤時刻	○	○	○
	17	労働時間	Date	時分	-	-	●	労働時間	-		●	○	○
	18	休憩開始時刻	Date	時分	-	-	○	休憩開始時刻	-		○	○	○
	19	休憩終了時刻	Date	時分	-	-	○	休憩終了時刻	-		○	○	○
	20	休憩時間	Date	時分	-	-	○	休憩時間	-		○	○	○
	21	残業時間	Date	時分	-	-	○	残業時間	-		○	○	○
	22	深夜残業時間	Date	時分	-	-	○	深夜労働時間	-		○	○	○
	23	遅刻・早退時間	Date	時分	-	-	○	遅刻・早退時間	-		○	○	○
作業情報	24	作業種	Text	-	100	-	●	作業の種別	○	作業種別	○	○	○
	25	作業開始時刻	Date	時分	-	-	○	(個別)作業を開始した時刻	-		○	○	○
	26	作業終了時刻	Date	時分	-	-	○	(個別)作業を終了した時刻	-		○	○	○
	27	作業時間	Double	h	4	2	○	(個別)作業を行った時間	-	(機械)使用時間	●	○	○
	28	作業工数	Double	人日	3	2	○	(個別)作業を行った工数	-		●	○	○
	29	作業量	Double	m3	6	2	○	(個別)作業で行った作業量	-	成果、進捗	○	○	○
	30	合計作業時間	Double	h	4	2	○	1日の合計作業時間	-		○	○	○
	31	合計作業工数	Double	人日	3	2	○	1日の合計作業工数	-		●	○	○
	32	機械種	Text	-	100	-	○	使用した機械の種別	○	重機種別	○	○	○
	33	機械名	Text	-	100	-	○	使用した機械の名称	○	機材、使用機械、重機名	○	○	○
	34	機械アワーメーター	Double	h	6	1	○	使用した機械の(最終作業終了時)アワーメーター	-		○	○	○
	35	使用燃料種	Text	-	100	-	○	使用した燃料の種類	○		○	○	○
	36	燃料使用量	Double	L	5	2	○	使用した燃料の数量	-		○	○	○
	37	給油種	Text	-	100	-	○	給油した燃料の種類	○		○	○	○
	38	給油量	Double	L	5	2	○	給油した燃料の数量	-		○	○	○
勤怠管理集計	39	計算期間日数	Date	日	4	-	○	集計する期間の暦日数	-		○	○	○
	40	労働日数	Integer	日	4	-	○	計算期間中、作業者が労働した日数	-		●	○	○
	41	労働時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、作業者が労働した時間数	-		●	○	○
	42	所定労働日数	Integer	日	4	-	○	計算期間中、計算期間日数から就業規則や雇用契約書等で定められた所定休日数を差し引いた日数	-		●	○	○
	43	所定労働時間数	Integer	時分	-	-	○	計算期間中、就業規則や雇用契約書等で定められた所定労働時間の合計	-		●	○	○
	44	法定休日出勤日数	Date	日	4	-	○	計算期間中、法定休日の出勤日数	-		●	○	○
	45	法定休日出勤時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、法定休日の労働時間数	-		●	○	○
	46	法定外休日出勤日数	Date	日	4	-	○	計算期間中、法定外休日の出勤日数	-		●	○	○
	47	法定外休日出勤時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、法定外休日の労働時間数	-		●	○	○
	48	残業時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、残業時間数	-		●	○	○
	49	法定時間内残業時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、所定労働時間を超過し、法定労働時間に満たない残業時間数	-		●	○	○
	50	法定時間外労働時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、法定労働時間を超過した残業時間数	-		●	○	○
	51	深夜残業時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、法定の深夜業に該当する労働時間数	-		●	○	○
	52	欠勤日数	Integer	日	4	-	○	計算期間中、欠勤した日数	-		●	○	○
	53	遅刻・早退時間数	Date	時分	-	-	○	計算期間中、遅刻・早退した時間数	-		●	○	○
	54	有休日数	Integer	日	4	-	○	計算期間中、取得した有休の日数	-		●	○	○

付表4 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 日報管理アプリ データ項目

※入力:○手入力、
●自動計算または一部手入力

カテゴリー	No.	属性名	形式	単位	全桁数	小数点以下桁数	仕様区分 ●:基本 ○:推奨	内容	コード	類語	入力	画面表示	出力
生産性管理 集計・分析	55	現場別作業時間数	Double	h	10	2	○	現場別の作業時間数	-		●	○	○
	56	工程別作業時間数	Double	h	10	2	○	工程別の作業時間数	-		●	○	○
	57	機械別作業時間数	Double	h	10	2	○	機械別の作業時間数	-		●	○	○
	58	作業別作業時間数	Double	h	10	2	○	作業別の作業時間数	-		●	○	○
	59	現場別工数	Double	人日	8	2	○	現場別の工数	-		●	○	○
	60	工程別工数	Double	人日	8	2	○	工程別の工数	-		●	○	○
	61	機械別工数	Double	人日	8	2	○	機械別の工数	-		●	○	○
	62	作業別工数	Double	人日	8	2	○	作業別の工数	-		●	○	○
	63	現場別生産性	Double	m3/人・日	5	2	○	現場別の生産性	-		●	○	○
	64	工程別生産性	Double	m3/人・日	5	2	○	工程別の生産性	-		●	○	○
	65	機械別生産性	Double	m3/人・日	5	2	○	機械別の生産性	-		●	○	○
	66	作業別生産性	Double	m3/人・日	5	2	○	作業別の生産性	-		●	○	○
	67	現場面積	Double	ha	5	2	○	現場の面積	-		○	○	○
	68	計画作業量	Double	m3	8	2	○	施業計画時の予定作業量	-		○	○	○
	69	計画工数	Double	人日	8	2	○	施業計画時の予定工数	-		○	○	○
	70	累計作業量	Double	m3	8	2	○	施業開始から集計時までの累計作業量	-		●	○	○
	71	累計工数	Double	人日	8	2	○	施業開始から集計時までの累計工数	-		●	○	○
	72	実績作業量	Double	m3	8	2	○	施業完了時の実績作業量	-		○	○	○
73	作業量進捗率	Integer	%	5	2	○	計画作業量に対する累計作業量の割合	-		●	○	○	
74	工数進捗率	Integer	%	5	2	○	計画工数に対する累計工数の割合	-		●	○	○	
その他情報	75	天候	Text	-	100	-	○	報告対象日の天候	-		○	○	○
	76	車両	Text	-	100	-	○	報告対象日の通勤等での使用車両	-	移動車両	○	○	○
	77	写真	-	-	-	-	○	現場写真等	-		○	○	○
	78	備考	Text	-	100	-	○	備考	-	メモ	○	○	○

付表5 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 日報管理アプリ コード表

◎勤怠種別	
コード	名称
1	出勤
2	休日
3	出張
4	欠勤

付表6 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 日報管理アプリ システム要件
 ※アプリに付随するPCソフト等での対応も可とする。

カテゴリー	項目	内容	仕様区分 ●:基本 ○:推奨
システム 一般	記録	データを自動または手動で入力し、記録することができる	●
	保存	記録したデータを、デバイス内・クラウド・パソコン等に保存することができる	●
	閲覧	保存したデータを、入力したデジタルデバイスで閲覧することができる	●
	修正	保存したデータを、入力したデジタルデバイスまたは他のデジタルデバイスを用いて、修正することができる	●
	蓄積	保存したデータを、デジタルデバイス内・クラウド・パソコン等に蓄積することができる	●
	オフライン対応	データの記録・保存・閲覧・修正・蓄積が、オフライン環境下でも使用できる	○
	バックアップ	蓄積したデータをバックアップとして保存し、元のデータに復元できる。	○
	出力	CSV形式等の汎用的なデータ形式で、データが出力できる	●
	データ共有	下記いずれかの手段を用いたデータ共有ができること ・ユーザー間によるメール等を用いたデータ送信 ・セキュリティー保護に対応した外部媒体(SDカード・USBメモリ等)を用いたデータ出力 ・デジタルデバイスとパソコンを有線または無線でつなぐことによるデータ送信 ・クラウドを通じたデータ共有	●
	通知	データ共有の完了時、管理者へ通知される(メール・プッシュ通知機能等)	○
	インポート	「ICT林業生産管理標準仕様」に対応した他の日報アプリ・検知アプリ(材積・重量)のデータを取り込める	○
	データ項目追加	ユーザーが任意のデータ項目を追加できる	○
	コード追加	ユーザーがコード表に任意の項目を追加できる	○
	写真活用	日報情報に撮影またはインポートした写真を付加・送信できる	○
位置情報活用	日報情報にGNSSで取得した位置情報を、付加・送信できる	○	
日報 一般	管理単位	事業者・作業班・作業者を単位とした、管理ができる	●
	管理者権限	管理者が作業者の情報を確認することができる	●
	報告者表示	作業者本人以外が日報を記録する場合、報告者を特定できる	○
勤怠管理	勤怠時刻記録	勤怠時刻を記録することができる	●
	タイムスタンプ記録	タップ等の簡単な操作を行うことで始業時刻・終業時刻が記録できる	○
	労働時間算出	記録した始業時刻と終業時刻から、労働時間を自動計算できる。 または任意の労働時間を入力できる。	●
	集計	作業者・現場等、任意の各項目について、項目ごとに任意の計算期間で集計できる	○
	帳票出力	出役簿等の帳票を出力することができる	○
生産性管理	集計・分析	現場・工程・機械・作業者の各項目について、項目ごとに任意の計算期間で集計・分析できる	○

付表7 ICT林業生産管理システム標準仕様(アプリ編) 施業提案アプリ システム要件

※アプリに付随するPCソフト等での対応も可とする。

カテゴリー	項目	内容	仕様区分 ●:基本 ○:推奨
システム 一般	記録	データを自動または手動で入力し、記録することができる	●
	閲覧	記録したデータを、その場で閲覧することができる	●
	保存	記録したデータを、デバイス内に保存することができる	●
	修正	保存したデータを後から修正することができる	●
	蓄積	保存したデータを、デバイス内に蓄積することができる	●
	オフライン対応	データの記録・閲覧・保存・修正・蓄積が、オフライン環境下でも使用できる	●
	バックアップ	蓄積したデータをバックアップとして保存し、元データを復元できる。	○
	出力	CSV形式でデータが出力できる	●
	データ共有	・メール等でデータが送信できる ・デバイスとPCを有線または無線でつなぐことによってデータを取り出せる ・クラウドにアップロードできる	●
	インポート	「ICT林業生産管理標準仕様」に対応した他の日報アプリのデータを取り込める	○
	写真添付	撮影またはインポートした写真を添付できる	○
	解像度切替	タブレット端末等の解像度に応じて、画面を適切な表示に切り替えられる	○
位置情報付加	GPSで位置情報を付加できる	○	
施業提案 一般	森林所有者表示	森林所有者を特定することができる	●
	対象森林表示	地番、林小班等によって、対象森林を特定することができる	●
	複数パターン保存	複数パターンの提案を保存・提示できる	○
	項目追加	任意の項目を設定、入力・出力できる	○
森林の現状	立木調査結果表示	現地での毎木調査・プロット調査結果を表示できる	●
	航空レーザー計測結果表示	航空レーザー計測結果を基にした現地データを表示できる	○
	写真表示	写真によって、現地の状況を伝えることができる	●
	動画表示	動画によって、現地の状況を伝えることができる	○
	位置図表示	画像等によって、森林の位置を示すことができる	●
	GIS	GISによって、森林の位置を示すことができる	○
施業内容 説明	現状分析説明	森林の現状分析を説明できる	○
	施業内容説明	施業予定の内容を説明できる	●
	施業効果説明	施業による効果を説明できる	○
	再計算	算定条件を変更し、その場で再計算することができる	●
見積り	見積シミュレーション	傾斜・集材距離等の代表的なパラメータの値を使って、現場の条件に応じた概算の見積算定ができる	○
	見積書作成	必要なデータを入力し、積算によって、見積書を作成できる	●
	再計算	算定条件を変更し、その場で再計算することができる	●
実績報告	完了報告作成	写真等を用いて、現場作業の完了報告を行うことができる	○
	差異分析	見積りと実績の差異があれば、その分析を行うことができる	○
	精算書作成	事業費の精算書を作成することができる	○